今こそ「JR連合ビジョン」の実践を

JR連合は、2020年2月に開催された第32回中央委員会において「JR連合ビジョン」を提起し、満場一致で承認を受けた。策定にあたっては、関係主体と総対話行動を通じて丁寧に議論を重ね、練り上げた。まさに、ビジョンで掲げた理念である「出会い　ふれあい　語り合い」を通じてまとめ上げられたのである。

「JR連合ビジョン」のめざすところは、環境が変化しようともJR産業が将来にわたり成長し続けるために、健全な労働組合の役割が不可欠であることを明らかにした上で、JR産業に集う仲間のJR連合への総結集を果たすべく方向性を示し、実践につなげることにあった。

それから数か月も経たない間に、世界は一変した。コロナ禍によって長期にわたりJR産業が苦境に立たされる中、働く仲間からは将来を不安視する声が数多く発せられている。今こそ、労働組合の重要性がかつてなく高まっているのだ。働く仲間に寄り添い、仲間の抱いている不安を共有し、その解消に向けてみんなで連携して取り組む健全な労働組合が、強く求められている。しかし、一方で、残念ながら私たちの職場には未だ集団的労使関係の庇護の下にいない仲間が多く存在している。JR連合は引き続き「JR連合ビジョン」の浸透と実践を通じて組織を強化し、JR連合に加入していない仲間へ輪を広げる取り組みを深度化させ、JR連合がJR産業で働くすべての仲間の唯一の結集軸となるべく邁進していく決意である。

JR産業に労働組合が必要な5つの視点

① 多様な人が支え続ける産業

老若男女、あらゆる雇用形態の人材が活躍してこそ、JR産業の発展があります。多様化する人材が抱える多様なニーズを労働組合が把握し、適切に労働環境の改善につなげることが、今後一層求められるのです。

② ルールと秩序を重んじる産業文化

JR産業の中核を形成する鉄道事業は、ルールを守り、チームで作業をするのが基本です。それゆえに阻害されがちな自由な意思疎通は、労働組合が声を吸い上げることで解消されるのです。また、こうした関係性はJR各社とグループ会社の間にも当てはまります。

③ 多様な価値観を養う人材育成

JR産業が有する業務の特殊性・専門性は、個々人の「働くこと」の認識を固定化させる懸念があります。労働組合の活動は、系統や職種、会社を越えた多くの仲間と出会える機会を創り出し、多様な価値観を受け容れる視野の広い人材を数多く育むことができます。

④ JR産業が抱える政策課題への対応

企業労使で解決できないJR産業の課題は、政治や行政の力なしに解決することは困難です。労働組合は、働く者の立場で、会社と異なるチャンネルを通じた働きかけを行い、労使が連携して政策課題を乗り越えていくことを可能にします。

⑤ JR産業と地域社会をつなぐ役割

私たちの産業は地域社会との連携で成り立っています。労働組合が様々な活動を通じて地域社会や、地域社会を支える仲間と交流して知得したJR産業に対する想いや期待を、会社をはじめとする関係主体に提言していくことが大事です。

私たちがめざす運動〈6本の柱〉

1 私たちは、仲間同士が集い、自由かつ活発に対話できる場を創出します。

組合員同士が気軽に集まり、語り合う場こそ組合活動の原点。組合員同士が自由かつ活発にコミュニケーションできる場作りは、これからも私たちの大事な役割である。

単に職場単位だけではなく、地区単位、系統、グループ会社間その他、様々な対話の場が輪の広がりを創り出し、一体感を醸成することで助け合いの輪を広げていく。

ふれあい 語り合い みで広がる明日を創り出そう～

り、様々な産業に集う仲間に広がっていく。広がりは無限である。

また、仲間と出会い、ふれあい、語り合うことで相手の立場を理解することができ、それは自分の仕事の意義への理解につながり、結果として自分自身の社会における役割の認識へと至る。この気付きによって、私たちの視野は広がっていく。労働組合は私たちの成長の場でもある。

少子高齢化、人口減少など、私たちの前には厳しい現実が立ちはだかる。しかし、将来は私たちの手で変えられる。雇用の確保や労働条件の向上はもとより、すべての仲間が安心して将来を展望できるよう、ＪＲ連合及び加盟全単組は、ＪＲ産業の持続的成長を実現し、そして全ての仲間と家族の幸せを実現する。「出会い」「ふれあい」「語り合い」ながらすべての仲間が連携し成長しながら、希望に満ちた「広がる明日」をみんなの歩みで創り出そう。

2 私たちは、仲間に寄り添い、想いや抱える悩みに耳を傾け、その解決に向けて取り組みます。

仲間一人ひとりに寄り添う世話役活動はどのような時代であっても最も大切にすべき取り組みである。決して職制だけでは集約できない組合員の率直な想いを、組合活動を通じて丁寧に把握していく。

把握した声は「私」の課題から「私たち」の課題として共有化し、解決に向けて総力を挙げて取り組む。そして、取り組みの手段として労使協議や共済活動といったあらゆる諸行動の質的向上を図る。加えて、取り組んだ過程と結果は組合員にしっかりと周知し、その上で次なる課題解決に取り組んでいく。

3 私たちは、ＪＲ産業に集うすべての仲間に、私たちの理念を広く語り掛けていきます。

ＪＲ連合が掲げる理念を共有する「自由にして民主的な労働組合」の存在こそ、ＪＲ産業を構成するすべての会社が持続的な成長を遂げる上で必要不可欠である。その確固たる認識に基づき、ＪＲ連合に加入していない多くの仲間、そして多様な雇用形態で働く仲間を迎え入れ、ＪＲ産業全体の成長の基礎を築く。

そして、異なる立場の仲間に想いを馳せながら、寄り添い、私たちの理念を語り掛けることで、ＪＲ産業で働くすべての仲間のＪＲ連合への総結集に邁進する。

4 私たちは、ＪＲ産業及び各社の持続的発展に参画します。

ＪＲ産業及び構成するすべての企業が持続的に成長しなければ、組合員・家族の幸せを実現することはできない。このＪＲ連合にとって極めて重要な価値観をすべての仲間と共有した上で、労働組合の強みを生かして健全な企業運営のための経営チェック機能を発揮し、建設的かつ具体的な提言に基づいて個別企業労使における労使協議をはじめとする取り組みを展開する。そして、企業活動への貢献と連動して各種労働条件の改善に向けた取り組みの強化を図る。

一方で、企業労使で解決できない課題については行政・政治を巻き込みながら政策実現の取り組みを推進する。

5 私たちは、社会とつながり、地域とつながり、支え合いの輪を広げていきます。

ＪＲ産業は社会の支えがあって成り立っている。ＪＲ産業が今後も地域社会に必要不可欠な存在であり続けるために、そして、組合員とその家族が地域において活き活きと暮らしていくために、私たちはＪＲ産業内に留まることなく、社会とつながり、地域とつながり、他産業・労働組合の仲間とつながっていく。

その中でお互いが支え合い、助け合う包摂的な社会を実現するとともに、多様な価値観を吸収し、自組織の強化に繋げていく。

私たちがめざす理念

出会い ～みんなの歩

私たちがＪＲ連合組合歌で常に耳にしてきた「出会い　ふれあい　語り合い」というフレーズ。これまでＪＲ連合に集う仲間全員がめざしてきた理念を端的に示す言葉である。この理念は将来にわたり希求し続けるものである。

職場に集う仲間。地区、系統、会社を越えてＪＲ産業に集う仲間。そうした仲間が組合活動を通じて「出会い」、仲間の輪ができる。そうした仲間の輪こそ、多くの仲間が支えるＪＲ産業の力の源泉である。そして仲間が上司部下の関係、採用種別の違い、性別の違い、所属する会社の違いといった様々な立場を乗り越えて「ふれあい」、結束する。さらにそうした仲間が「語り合い」、お互いを理解しあい、それぞれの不安や悩みを共有し、力を合わせて様々な課題に対応すべく歩んでいく。そうして出来上がった仲間の輪は、ひとつの労働組合内で完結するのではなく、労使の間に広がり、地域社会に広が

6 私たちは、組合活動を通じて将来のＪＲ産業を担う人材を育成します。

組合活動を経験することにより、相互信頼に基づく人的ネットワークの構築、視野の拡大といった、職制では決して経験できない貴重な成長の機会を得ることができる。また、実際に組合活動に能動的に取り組んでこそ、労使関係の意義や労働組合の必要性をより深く理解できるのである。

今後もＪＲ産業を支え続けるのは人である。私たちは、ＪＲ産業で働く仲間が組合活動を通じて人と人とのつながりを大切にする人材、広い視野と深い識見を持った人材へと成長を遂げるよう、人材育成に取り組んでいく。